

令和3年度有機フッ素化合物環境中残留実態調査結果（冬季）について

1. 概要

- (1) 平成29年度から主に米軍基地周辺でPFOS, PFOA等の有機フッ素化合物の調査を毎年、夏季、冬季の2回行っている。
- (2) 令和3年度冬季は、47地点で調査を実施（資料1）。  
[採水日：令和3年12月～令和4年1月]
- (3) 各米軍基地周辺の調査地点数と、環境省が定めた暫定指針値（50ng/L）を超過した地点数は以下のとおり。
- (4) 全調査地点中の最大濃度は嘉手納町の民家地下水の1900ng/Lであった。

地域	指針値超過地点／調査地点	合計
普天間飛行場周辺	12／20	33／47
キャンプ瑞慶覧周辺	0／1	
嘉手納飛行場周辺	11／12	
キャンプマクトリアス周辺	7／10	
キャンプハンセン周辺	3／4	

各地点の詳細結果（資料2）

2. 今後の予定等

- (1) 令和4年度も基地周辺のPFOS等調査を夏季と冬季の2回実施する。超過地点については、環境省が作成した手引きに基づき、飲用に供しないよう、関係市町村及び地元自治会を通じて周知していく。
- (2) 普天間飛行場や嘉手納飛行場周辺は基地からの影響である蓋然性が高いことから、引き続き国や米軍に対して、立入調査や国による原因究明等を求めていく。
- (3) 令和3年度に専門家会議を設置し、普天間飛行場周辺の汚染源特定に向けた調査・検討を開始しており、令和4年度も引き続き実施する。